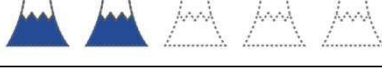


1. 建物概要

建物名称	浜名梱包輸送株式会社様 物流センター	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★
------	--------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.4 /5		ふつつ 
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.7 /5		がんばろう 
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	2.5 /5		がんばろう 
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.0 /5		がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0＝1点、スコア5.0＝5点)		評価 凡例 よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上 
			がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.4
 ■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④更新必要間隔等は可能な限り標準以上となるよう配慮した。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ①	外皮性能	② 屋光利用設備 ③ 屋光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔
	Q-1 3 3.1 3.1.3 ②	屋光利用設備	
	3.2 3.2.1 ③	屋光制御	
	Q-2 2 2.2 2.2.1 ④	躯体材料の耐用年数	
	2.2.2 ④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内建物廻りに樹木を配置することにより外構緑地率30%以上を確保した。	Q-3 1 ⑤	生物環境の保全と創出	⑥ 敷地内温熱環境の向上
	3 3.2 ⑥	敷地内温熱環境の向上	
 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用)	LR-1 1 ⑦	建物外皮の熱負荷抑制	⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑪ 運用管理体制
	2 ⑧	自然エネルギー利用	
	3 ⑨	設備システムの高効率化	
	4 4.1 ⑩	モニタリング	
	4.2 ⑪	運用管理体制	
 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型機器の使用。 ⑫有害物質を含まない資料を1つ以上使用 ⑬ハロン消火剤を使用していない。 ⑬ODP=0の断熱材発泡材を使用 ⑬ODP=0の冷媒の使用	LR-2 1 1.1 ⑪	節水	⑫ 雨水利用システム導入の有無 ⑬ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑭ 材料使用量の削減 ⑮ 既存建築躯体等の継続使用 ⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑱ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑳ 有害物質を含まない材料の使用 ㉑ 消火剤 ㉒ 断熱材 ㉓ 冷媒
	1.2 1.2.1 ⑪	雨水利用システム導入の有無	
	1.2.2 ⑪	雑排水等利用システム導入の有無	
	2 2.1 2.1.1 ⑫	材料使用量の削減	
	2.1.2 ⑫	既存建築躯体等の継続使用	
	2.1.3 ⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
	2.1.4 ⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
	2.1.5 ⑫	持続可能な森林から産出された木材	
	2.1.6 ⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
	3 3.1 ⑬	有害物質を含まない材料の使用	
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮地表面対策面積率30%以上を確保した。	LR-3 1 ⑭	地球温暖化への配慮	⑮ 温熱環境悪化の改善
	2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	2.7
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯標準的な耐震性を有する。 ⑰設備の耐震等、可能な限り標準以上となるように配慮し、耐用性・信頼性の確保に努めた。	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯	耐震性	⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑳ 電気設備 ㉑ 機械・配管支持方法 ㉒ 通信・情報設備
	2.4 2.1.2 ⑰	免震・制振性能	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	2.5
 ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳階高のゆとり、空間の形状や自由度を確保した。	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱	ユニバーサルデザイン計画	㉑ 階高のゆとり ㉒ 空間の形状・自由度 ㉓ 地域性への配慮、快適性の向上
	3 3.1 3.1.1 ⑲	階高のゆとり	
■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1 ㉑	地域性への配慮、快適性の向上	
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.0
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内建物廻りに樹木を配置することにより外構緑地率30%以上を確保した。 ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。	Q-3 1 ⑤	生物環境の保全と創出	⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ まちなみ景観への配慮
	2 ⑥	敷地内温熱環境の向上	
	3 3.2 ⑦	まちなみ景観への配慮	
■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善) ⑮地表面対策面積率30%以上を確保した。	LR-3 2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善	